



東亜ディーケーケー株式会社
平成30年3月期第2四半期決算補足説明資料
(東証1部:6848)

平成29年10月

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

平成30年3月期第2四半期決算サマリー(前年同期比)



- ・売上高は国内・海外ともに好調に推移し、当初予想を上回り増収
- ・収益は売上高の増加とコスト削減や製品構成の変化による効果で原価率が低減し増益
- ・単月黒字化97ヶ月連続記録更新中

(単位:百万円)

	H28.2Q 実績	H29.2Q 実績	前年同期比増減		H29.2Q 5/9 公表値	H29.2Q 10/17 修正公表値
			金額	%		
売上高	6,377	6,779	402	6.3	6,600	6,779
営業利益	361	548	187	51.9	430	548
経常利益	410	577	167	40.8	440	577
四半期純利益	234	358	123	52.7	250	358

(表示単位未満を切り捨て)

計測機器事業

売上高6,648百万円(6.1%増)、セグメント利益840百万円(21.4%増)

- 国内の売上高は、主力の環境・プロセス機器の販売が好調に推移し、また医療関連機器の受注が増加したことにより増収
- 海外の売上高は、中国を中心としたアジア地区での需要拡大に併せ拡販に取り組んだことにより増収
- 利益面は、かねてより推進してきたコスト削減や製品構成の変化による効果で原価率が低減したことにより増益

不動産賃貸事業

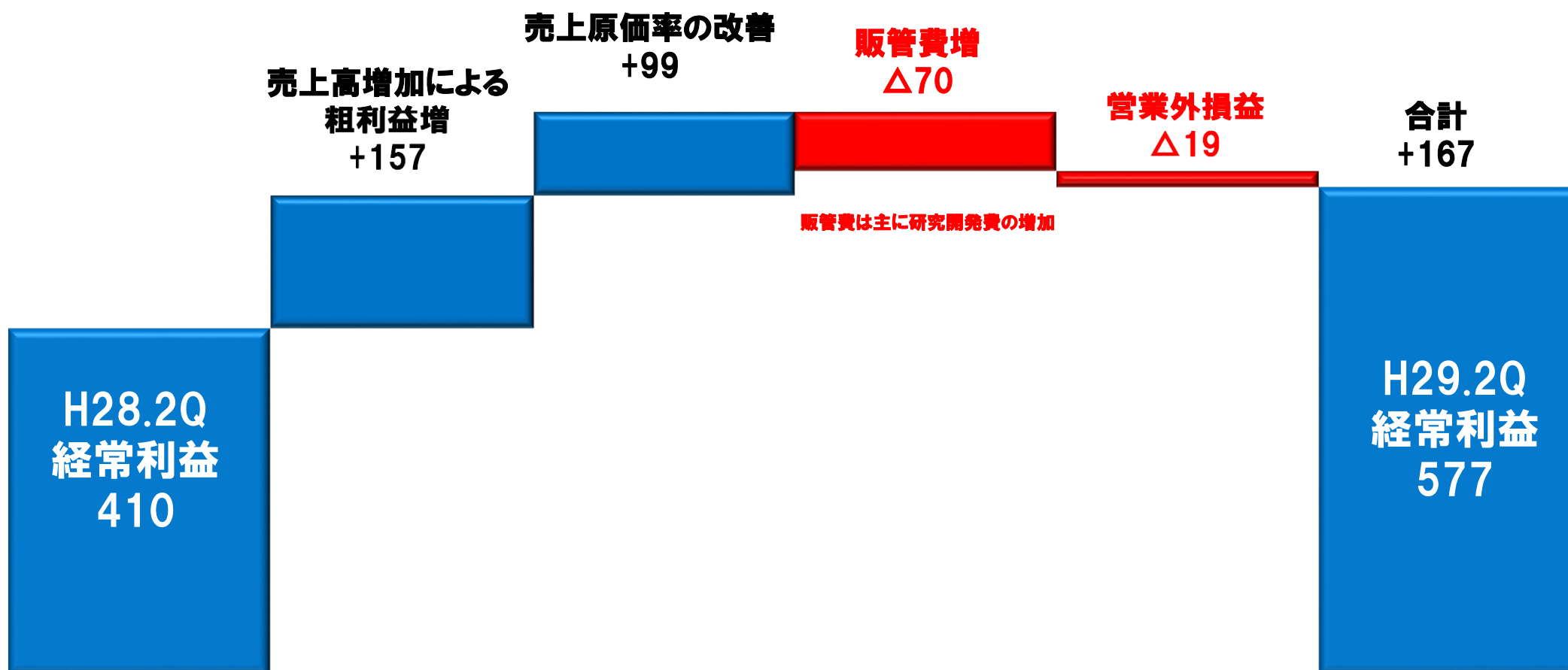
売上高131百万円(21.4%増)、セグメント利益83百万円(48.7%増)

- 前年度に購入した本社隣接土地を駐車場運営会社に賃貸開始し増収・増益

第2四半期経常利益増減分析(前年同期比)



(単位:百万円)

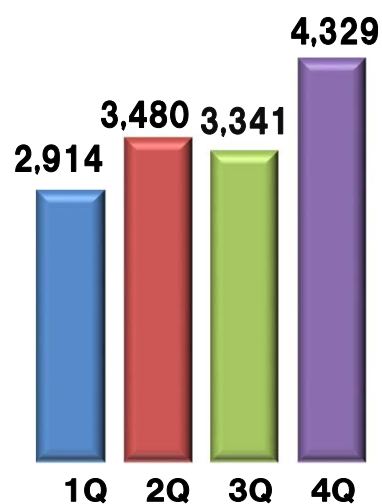


四半期別経営成績（売上高）

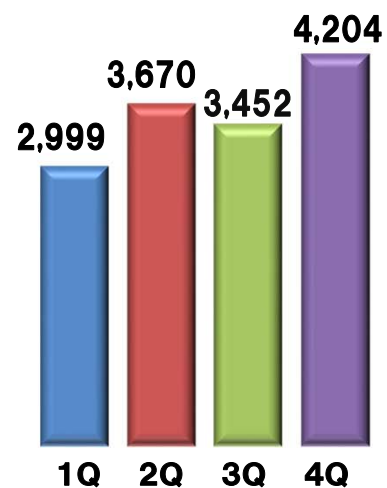


（単位:百万円）

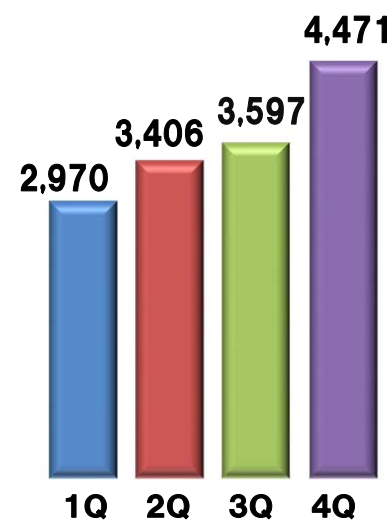
（ 8,221 ）



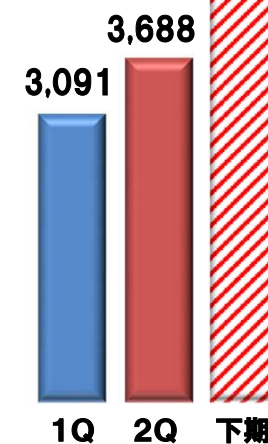
26年度



27年度



28年度

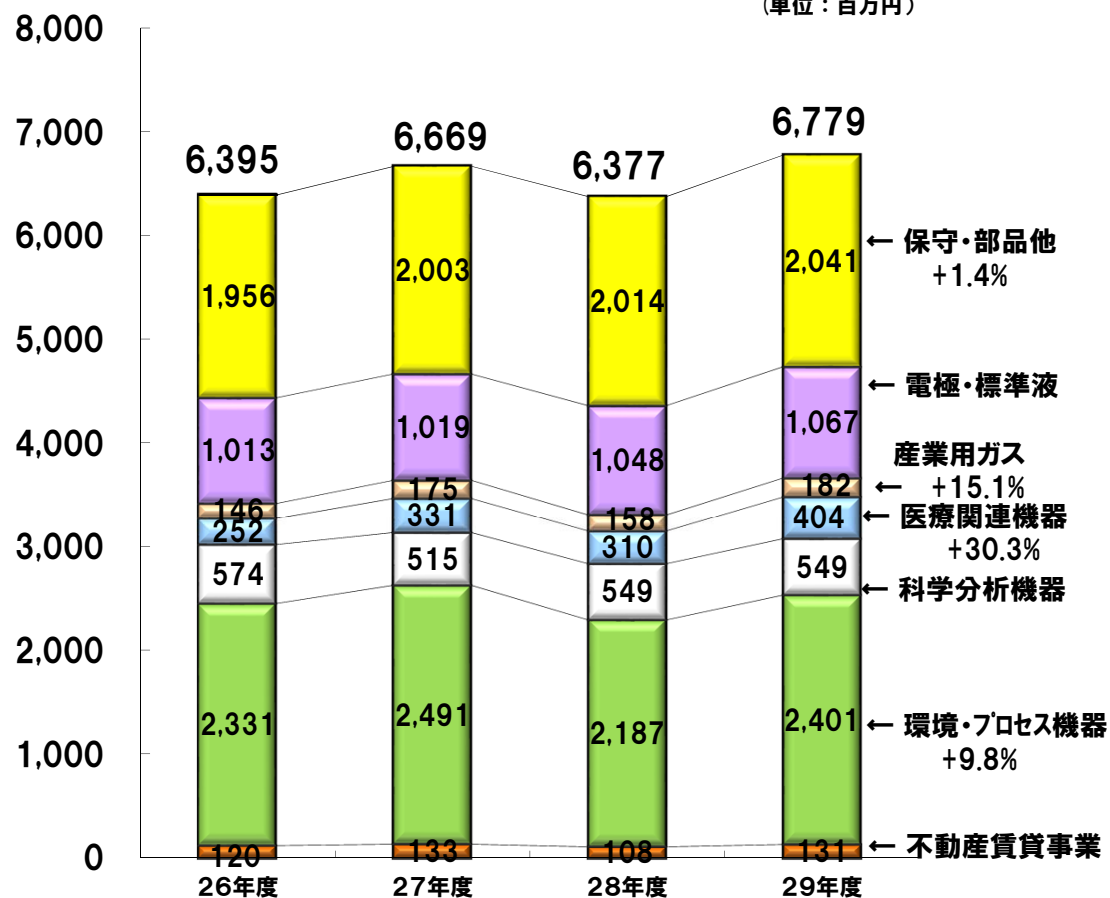


29年度

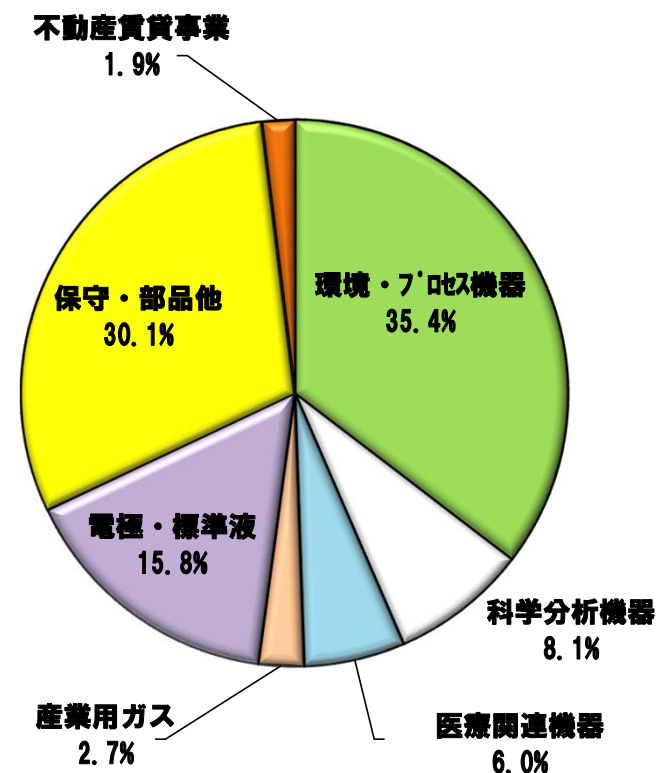
第2四半期売上高推移と構成比

売上高推移

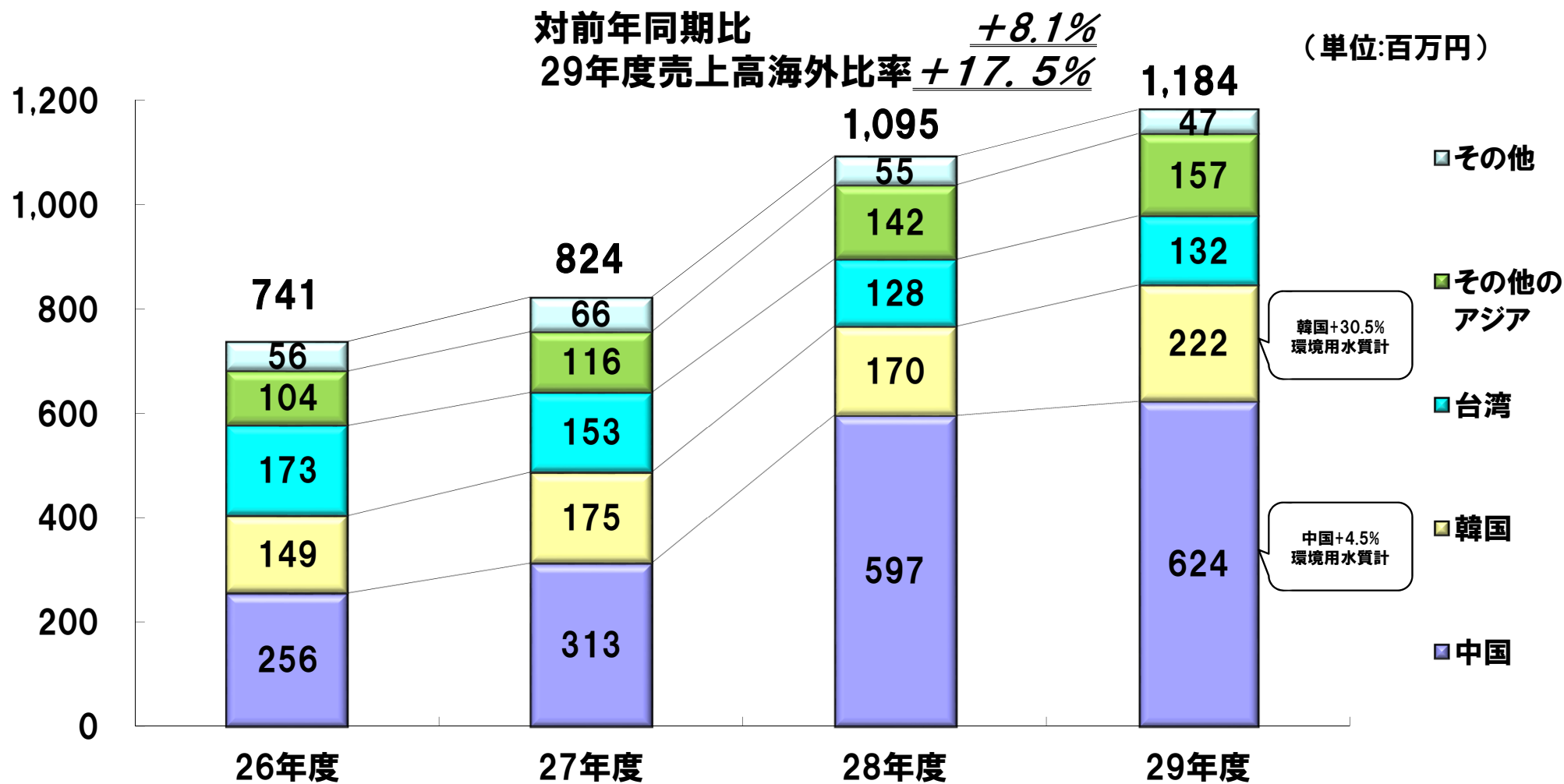
(単位：百万円)



売上高構成比



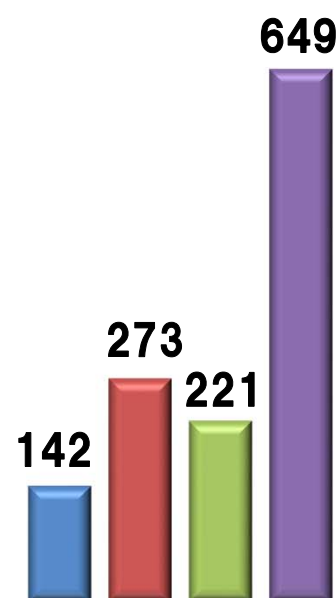
第2四半期海外売上高推移



四半期別経営成績（経常利益）

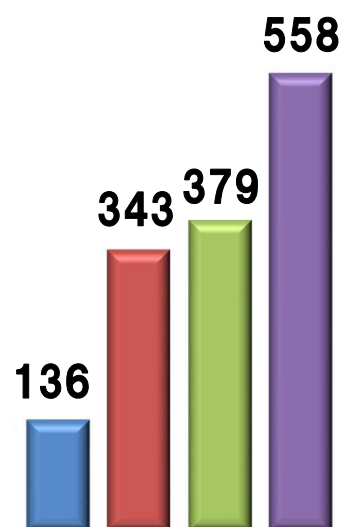


（単位:百万円）
（ 923 ）



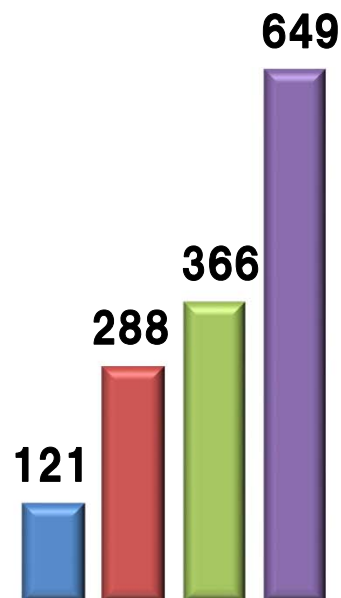
1Q 2Q 3Q 4Q

26年度



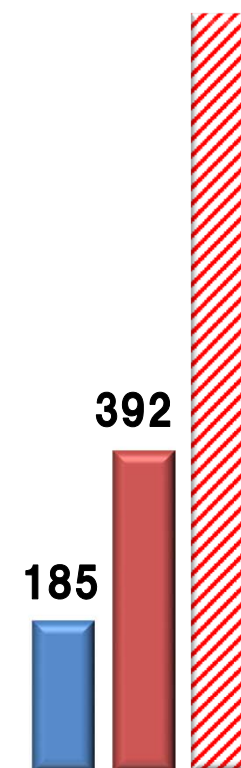
1Q 2Q 3Q 4Q

27年度



1Q 2Q 3Q 4Q

28年度



1Q 2Q 下期

29年度

貸借対照表、損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書(要約)



貸借対照表

(単位:百万円)

	前期 29年3月末	当期 29年9月末	増減
(資産の部)			
流動資産	12,991	12,476	△515
現金及び預金	4,536	4,535	△0
売掛金及び受取手形	6,151	5,455	△695
棚卸資産	1,816	2,073	256
その他	487	411	△75
固定資産	6,994	7,495	500
資産合計	19,986	19,972	△14
(負債の部)			
流動負債	2,922	2,866	△56
固定負債	3,294	3,138	△155
負債合計	6,216	6,004	△212
(純資産の部)			
株主資本	12,992	13,092	100
その他の包括利益累計額	777	874	97
純資産合計	13,769	13,967	197
負債純資産合計	19,986	19,972	△14

1. 総資産は医療関連機器生産棟建設により増加するも、売掛金及び受取手形の回収などが進み14百万円減少し、19,972百万円
2. 自己資本比率は69.9%

損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 28年4月1日 28年9月30日	当第2四半期 29年4月1日 29年9月30日	増減
売上高	6,377	6,779	402
売上原価	3,914	4,059	145
売上総利益	2,462	2,720	257
販売費及び一般管理費	2,101	2,171	70
営業利益	361	548	187
営業外収益	55	34	△20
営業外費用	6	5	△0
経常利益	410	577	167
特別利益	0	-	△0
特別損失	0	0	0
税金等調整前四半期純利益	410	577	166
法人税等	175	218	43
四半期純利益	234	358	123

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 28年4月1日 28年9月30日	当第2四半期 29年4月1日 29年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,020	976
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153	△664
財務活動によるキャッシュ・フロー	△295	△312
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額	571	△0
現金及び現金同等物の期首残高	3,558	3,225
現金及び現金同等物の期末残高	4,130	3,224

平成30年3月期通期業績予想(修正なし)



・ 国内では引き続き環境省第5次水質総量規制時に販売した機器の更新需要に注力、大手医療機器メーカー向け生産も開始され大きく寄与するものと考えております。また、海外では中国をはじめとするアジア地区に積極的な営業活動を継続していきます。

しかしながら、下期は医療関連機器生産棟の償却費負担、その他諸経費も発生しますので、コスト削減、生産性の向上など体質強化の取り組みを進め、期初の利益を確保する所存です。

・ 現時点で平成29年5月9日に公表の通期業績予想の修正はありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合には、適時に開示してまいります。

(単位:百万円)

	H29.3 実績	H30.3 予想	増減	
			金額	%
売 上 高	14,445	15,000	554	3.8
営 業 利 益	1,365	1,470	104	7.7
経 常 利 益	1,426	1,500	73	5.1
当 期 純 利 益	1,226	1,000	△ 226	△ 18.5

(1) 医療関連機器生産棟が竣工

平成29年10月、狭山テクニカルセンター内で建設を進めていた医療関連機器生産棟が完成し、竣工式を執り行いました。

同月に稼働し、人工透析に必要な粉末型透析用剤溶解装置の増産を開始しました。

当社は、29年前に同装置の開発・製造を開始して以来、透析医療施設へ納入してまいりました。今後は、当社の強みであるセンサ技術を応用して開発予定の臨床医療用製品と併せ、医療関連機器分野での事業拡大に注力してまいります。



<医療関連機器生産棟概要>

建屋概要：延床面積 約3,300㎡ 鉄筋コンクリート地上4階建
主な用途：生産ライン、試験評価設備、クリーンルーム

(2) メタウォーター株式会社の水道用水質計を事業譲受

当社は上水マーケットに数多くの水質計をご提供しておりますが、多様化するお客様のニーズにお応えすべく積極的な戦略として、メタウォーター株式会社と水道用水質計の事業譲渡契約を締結しました。

同社の技術の結晶である水道用水質計8機種が加わり、より充実した品揃えでお客様のご期待に応えられるものと考えております。

<概要>

事業譲受対象：メタウォーター株式会社の水道用水質計
事業内容：水道用水質計8機種の製造・販売ならびに保守・メンテナンス事業
事業譲受日：平成30年4月1日(予定)

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞
東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部 経営企画課

電話:03-3202-0242
メール:ir@toadkk.co.jp
URL:<http://www.toadkk.co.jp/>